

NEWS LETTER



京都教育大学
附属教育実践センター機構

Kyoto University of Education
Organization of Educational Research and Practice Centers

第13号 (2013. 6. 24)

教育支援センター

Educational Support Center

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

“人間と性”教育研究協議会 全国夏季セミナー近畿大会について

当センター「モラル・人権意識向上教育」部門の事業と関連した表記大会が、京都教育大学の共催により、本学F棟を会場として開催されます。日本で最大規模の性教育研修会であり、一人ひとりの人権をまもる“いのち・からだ・性”を改めて学び直す貴重な機会になると思われます。

本学学生・院生は無料となっていますので、ご紹介の程、よろしくお願い致します。

◆大会概要

◎大会テーマ

いまこそ科学として学ぶ“いのち・からだ・性”～孤立化する社会の中で一人ひとりの人権をまもる～

◎主催 一般社団法人“人間と性”教育研究協議会(性教協) 共催 京都教育大学

◎後援 京都市、NHK 京都放送局、京都新聞本社、朝日新聞社、社団法人日本家族計画協会、
(財)家族計画国際協力財団(ジョイセフ) 他

◎日程 平成25年7月27日(土)12時～18時、28日(日)9時～16時45分

◎内容 1日目(27日)

* <記念講演> 西澤哲氏(山梨県立大学教授)『子どもを取り巻く性の問題～性的虐待を中心として～』

* <トーク&トーク> 『性暴力の現実を知り、教育での根絶を目指す』

* <理論講座> 村瀬幸浩氏(性教協幹事)『「男子の性」はいまこれからの性教育の中心課題の一つ』

2日目(28日)

* 午前 模擬授業13講座 * 昼 3セミナー * 午後 テーマ別分科会16講座 * 全日 現地特別企画

◎会場 京都教育大学 F棟

◎資料代(参加費) 2日間 ¥8,500、27日のみ ¥4,000、28日のみ ¥5,000

京都教育大学学生・院生は、学生証提示で無料

なお、詳細及び申込は <http://www.seikyokyo.org/ivent/seminar/32/index.html> (性教協で検索可) をご覧下さい。

「教員として求められる資質についての研究」について

教育支援センターでは、平成24年度教育改革・改善プロジェクト経費(学長裁量経費)「教員として求められる資質についての研究」の成果報告書(第一次)を作成しました。内容は以下の通りです。今年度は「骨太の教員」をキーワードに、プロジェクト研究をさらに進めていきたいと考えています。

- | | |
|-----|----------------------------------------------------|
| 第1章 | 子どもが主役の学校づくり
——学校と保護者のよりよい関係を目指して—— |
| 第2章 | 現代に求められる教員の資質能力とは・・・
——近年の答申と量的解析による研究のレビューより—— |
| 第3章 | 部活動顧問教師に求められる資質と能力 |
| 第4章 | これからの性教育に必要なこと
——社会の現実から性教育の課題と方向性を探る—— |
| 第5章 | 教員に求められる子どもと向き合う力
——目と目を合わせて見えてくるもの—— |
| 第6章 | 京都教育大学における教員養成カリキュラムの歴史
——師範学校の時代—— |

「生活科・総合的学習の理論と実践」について

京都府・京都市教育委員会の先生方、附属学校の先生方をはじめ、多くの方々にご協力いただき、書籍【京都教育大学教育支援センター「生活科・総合的学習」研究会編『生活科・総合的学習の理論と実践—体験から学びへ「京(みやこ)からの発信」—』東京教学社、2013年】を刊行しました。

内容は3章に分かれ、第I章は『「生活科・総合的学習」の今までとこれから』、第II章は『「生活科・総合的学習」の実践活動』、第III章は『「生活科・総合的学習」の実践活動に役立つコラム』となっています。

本年度、当大学の生活科や「総合的な学習の時間」に関する講義においても使用しています。



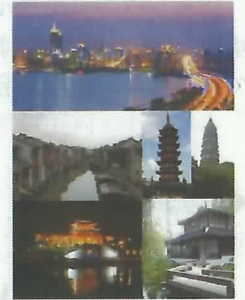
留学生と地域住民との交流プログラム



平成25年度第1回は、6月19日(水)に開催し、東洋のベニスといわれる水の都「中国 蘇州」の風景を留学生の邱彦琪さんに紹介して頂きました。

蘇州は、高速鉄道に乗って上海から30分。堀に囲まれた旧市街には世界遺産に指定された庭もあり、堀を巡る船でいくつもの城門や塔のある景色を楽しめるそうです。古い町は黒い屋根と白い壁で統一されているようで、町並み保存が徹底されているようです。伝統工芸の刺繍や伝統芸能「評弾」「崑劇」もあります。旧市街を出れば、ネオンが輝く大都会。上海蟹も美味しいそうです。

次回は7月末に行う予定です。決定次第、メールでお知らせします。



留学生交流演習室のboard deco

教育支援センター1階にある留学生・地域交流演習室ホワイトボードに、幼児教育学科のみなさんが可愛い貼り絵をしてくれています。

6月は、梅雨空には虹が、地上では色とりどりの紫陽花が輝いて、蛙さんたちも雨を楽しんでいるようです。

センターへお越しいただき、学生たちの力作をご覧ください。



学生ボランティアについて

ボランティア活動に関して、学生に周知していただきたいこと

1. 学生が公立学校等でボランティア活動をする場合、必ず、教育支援センター内の地域支援推進室で登録するようお願いいたします。正式に大学に登録しておくこと、例えば、教員採用試験の書類作成の際に、ボランティア活動の実施について大学側で承認することができ、就職にとって有利に働く場合があります。
2. 京都府内だけでなく、さまざまな地域での多様な学校ボランティア(時間的にも)を紹介することができますので興味関心を持っている学生には、ぜひ、一度、地域支援推進室に来室するようお願いください。

【教育支援センター内：地域支援推進室】 Tel 075-644-8336 Eメール sien@kyokyo-u.ac.jp

受付時間 月曜日・木曜日 11時～14時 金曜日 11時～15時 担当：河内(かわち)

教育支援センター スタッフ

センター長(併)	水山 光春	075-644-8281	mizuyama@
教育実践連携部門	樋口とみ子	075-644-8337	tomiko@
実地教育部門	小林 稔	075-644-8229	mkoba98@
実地教育部門(兼任)	小山 宏之	075-644-5303	koyama@
モラル・人権意識向上教育部門	関口 久志	075-644-8326	sekihis@
特任教員(京都市教育委員会)	池田 忠	075-644-8214	iked@
特任教員(京都府教育委員会)	竹花 裕子	075-644-8216	yuko627@
事務補佐員 センター全般	杉本 恭子	075-644-8335	kyoko@
事務補佐員 地域支援推進室	河内真由美	075-644-8336	sien@
事務補佐員 留学生・地域交流演習室	(16時15分～17時15分)	修寧	(月・水・木) 邱彦琪 (火・金)
教務補佐員 学校運動部活動指導者育成事業	本藤 大成	075-644-8143	hondo@

TEL 075-644-8335 FAX 075-644-8339 E-mail cert@kyokyo-u.ac.jp

